

スマートフォンで 119 通報するときは GPS 機能を有効にしてください

消防へ救急や火災などの通報をする際、GPS 機能が搭載されている機種でも、GPS 機能を有効にしていないと、119 番などの緊急通報時に通報者の位置情報が伝わらず、場所の特定に時間がかかる場合があります。スマートフォンの GPS 機能をオンにしておくだけで、災害発生場所をピンポイントに、そして早期に特定できます。

怪我人や病人の予後、また火災の延焼に大きな影響を与えることから、災害発生場所の特定はとても重要で、119 通報の際、最も聴取したい情報です。

GPS 設定方法

- iPhone 設定→プライバシー → 位置情報サービス → 位置情報サービスをオン
- Android 設定 → 位置情報 → 位置情報の使用をオン

GPS を ON にしていないとき

119 通報をしたとき、GPS の設定をしていない場合は、こちらから現在地の緯度経度（北緯東経）を聴取します。（GPS の設定をしてある場合でも、電波状況により緯度経度を確認させていただく場合もあります。）

様々な確認方法がありますので、一部を下記に紹介します。参考にしてください。

iPhone

1. アプリの「コンパス」を開く。
2. 下部に北緯と東経座標（例：「緯度 36. 3081918,経度 139. 4437806」）が表記されます。

Google マップ

1. スマートフォン(iPhone、Android)で、Google マップ アプリを開きます。
2. 赤いピンがドロップされるまで、地図上で自分のいる場所を長押しします。
3. 検索ボックスで座標を確認します。
4. 北緯と東経座標(例:「緯度 36. 3081918,経度 139. 4437806」のような数字(座標)が出ます)を通信指令員に伝えてください。

消防指令システムは、119 通報した方の位置を表示する機能があります

消防指令システムには、位置情報通知システムという機能があり、通報者の位置を指令台の地図画面に表示することができます。



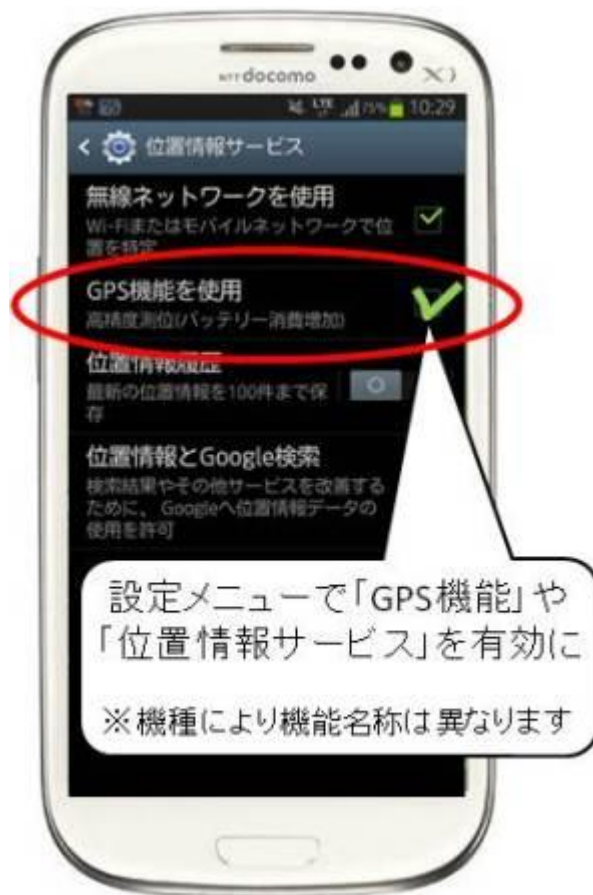
位置情報通知システムとは

固定電話での通報時には、通報受付とほぼ同時に正確な位置を把握することができますが、携帯電話やスマートフォンでは、まずはじめに基地局エリアのおおまかな位置（300m～数 km）が通知され、その後、GPS 機能付（機能ONの場合）の端末では、10～50m 程度の範囲に絞り込むことができます。（電波状況により絞り込めない場合もあります。）



スマートフォンで 119 番通報するときの注意点

しかし、スマートフォンの場合は、電池残量を保つため、ユーザーが GPS 機能を OFF にしている場合もあり、端末に GPS 機能が搭載されていても、通報時に GPS による正確な位置が通知されないことも多くあります。



すばやく消防車や救急車を出動させるために、通報前に、GPS 機能を有効にするように、ご協力をお願いいたします。

119 番通報する（GPS 機能使用時）ときの注意点

- 通報時には上空に障害物が無いことを確認してください。
- 屋内では GPS による正確な位置情報は取得できません。
- 自宅での通報の場合は、極力固定電話を使用してください。

登山をする方へ



登山者の皆さま
スマートフォン
『GPS』
オンになってますか？

**あなたは
今
どこにいるか
わかりますか？**

山の中での通報は
『GPS』
が必要です。

富士山南東消防本部
通信指令課
(三島・裾野・長泉)

山岳内での災害発生時の 119 通報は、周囲に目標となるものが少ないことから、場所を特定するのに特に時間を要し、特に市外からの登山客は、地理に不慣れなこともあり、かなりの時間を要します。

山を登る方は、自分、家族、仲間を助けるためにも
GPS をオンに設定し登山を開始してください。